

優秀基礎医学論文賞
「総合リハビリテーション賞」授賞論文一覧

2018年9月26日現在

第1回(1993):20巻6号掲載

角谷直彦(MD)・他:第Ⅱ層嚙下障害のリハビリテーション—バルーンカテーテルによる間歇的空気拡張法

第2回(1994):21巻7号

塚越和巳(体育指導員)・他:Anaerobic Threshold からみた脳血管障害片麻痺者の全身持久性評価の検討

第3回(1995):22巻8号掲載

原田 孝(MD)・他:運動負荷によるラット骨格筋の筋肉深度別組織化学的所見

第4回(1996):23巻7号掲載

南雲直二(心理):外傷性脊髄損傷者の遅発性抑うつ状態の追跡的研究

第5回(1997):24巻4号掲載

鈴木英二(MD)・他:脳卒中患者の社会適応スケールの作成

第6回(1998):25巻6号掲載

問川博之(MD)・他:こどものための機能的自立度評価法(WeeFIM)による小児ADL評価—発達検査法との比較

第7回(1999):26巻2号

新村満寿美(Ns)・他:看護時間と機能的自立度評価 FIM-FIM の定義に当てはまる看護とのその他の看護とを区別して

第8回(2000):27巻8号掲載

近藤 敏(OT)・他:高齢者における転倒恐怖

第9回(2001):28巻8号

木村美子(PT)・他:近赤外線分光法を用いた運動時の外側広筋内酸素動態の測定—再現性および筋仕事量,全身酸素摂取量との関係—

第10回(2002):29巻12号掲載,29巻9号掲載

横塚美恵子(PT)・他:難治性尿失禁に対する仙骨部表面電気刺激の長期効果

高橋香子(Ns)・他:排尿障害患者における仙骨部表面電気刺激の下部尿路に及ぼす影響

第11回(2003):30巻10号掲載

島田裕之(PT)・他:21か月間の横断研究による虚弱高齢者の転倒頻度と身体機能変化との関係

第12回(2004):31巻2号掲載

永井将太(PT)・他:The Full-time Integrated Treatment (FIT) program の効果

第13回(2005):32巻12号掲載

島岡秀奉(PT)・他:痙縮に対する持続伸張と連続的他動運動の比較検討

第14回(2006):33巻8号掲載

横山仁志(PT)・他:重度慢性閉塞性肺疾患患者における下肢筋力トレーニングの安全性

第15回(2007):34巻1号掲載

山田 深(MD)・他:FIM™採点支援コンピュータプログラム「iFIM」の開発

第16回(2008):35巻11号掲載

山田 実(PT)・他:二重課題バランス訓練による歩容変化—健常高齢者を対象とした介入研究

第17回(2009):36巻7号掲載

道木恭子(Ns)・他:脊髄障害女性の妊娠・出産に関する調査研究

第18回(2010):37巻2号掲載

野間知一(OT)・他:脳卒中片麻痺上肢の痙縮筋への振動刺激痙縮抑制療法と促通反復療法との併用による麻痺と痙縮の改善効果

第19回(2011):38巻6号掲載

武田正則(PT)・他:脊髄損傷における車いす上除圧・減圧姿勢の検討

第20回(2012):39巻10号掲載

外山慶一(ST)・他:神経筋電気刺激療法(neuromuscular electrical stimulation; NMES)による嚥下機能改善へ向けた舌骨と喉頭運動の検討

第21回(2013):40巻10号掲載

中野英樹(PT)・他:足底知覚学習課題が高齢者の歩行安定性に与える効果—ランダム化比較対照試験

第22回(2014):41巻2号掲載

杉山統哉(PT)・他:急性期脳卒中患者の歩行自立度と社会的サポートの関連—リハビリテーション患者データバンクの多施設登録データを用いた研究

第23回(2015):42巻5号掲載

田中 創(PT)・他:高次脳機能障害者の自動車運転における行動特徴と機能特性

第24回(2016):43巻11号掲載

井上靖悟(PT)・他:力学的エネルギー交換率の歩行効率指標としての妥当性—脳卒中片麻痺患者および健常者における検討

第25回(2017):44巻12号掲載

加藤貴志(OT)・他:脳損傷者の実車運転技能に関連する神経心理学的検査について—システムティックレビューとメタ分析

第26回(2018):45巻7号掲載

河野健一(PT)・他:外来通院透析患者の転倒予測指標としての歩行周期変動の有用性